UM販売購買

リリースノート

2301E

発行日	2023/02/20
最終改訂日	2023/04/10

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

目次

目次 1
改訂履歴 3
1. 概要 4
2. 詳細 ver 1.72 5
2.1. 仕入先元帳照会機能の追加 5
2.2. 残高の外貨換算対応 5
2.3. 債務締指示、残高計算処理改善 6
2.4. 伝票コピー時の項目改善 6
2.5. 受注CSV取込 客先品番から自社品番への振り替え機能追加 7
2.6. 受注CSV取込 単価、税率の自動設定機能追加 7
2.7. 受注 単価取得の機能改善 7
2.8. 受注CSV取込の取込可能伝票数の改善 8
2.9. 伝票未確定フラグの初期値設定の追加 8
2.10. 出荷実績API 伝票未確定時の出荷登録機能改善 8
2.11. 締／締解除画面 ページング機能追加 8
2.12. 各購買伝票作成時の入力チェックを変更 9
2.13. 赤黒修正、削除処理をフラグからボタンに変更 9
2.14. 請求締解除／支払締解除の削除処理変更 9
2.15. 帳票 会社ロゴの設定機能追加 9
2.16. 請求書の表示ラベル変更 10
2.17. 債権消込 入金情報欄に受注項目追加 10
2.18. 取引先マスタの入力チェックを変更 10
2.19. 債権奉行クラウド、債務奉行クラウド連携時のCSV出力機能追加 11
2.20. 不具合修正 11
3. 詳細 ver 1.74.2 13
3.1. 支払実績明細の消費税計算区分を廃止 13
3.2. 不具合修正 13
4. 詳細 ver 1.74.3 13
4.1. 不具合修正 13
5. 詳細 ver 1.74.4 13
5.1. 不具合修正 13
6. アップグレード手順 14
7. UM販売購買用設定 17
7.1. UM共通用設定 17
7.2. フローの制御を無効化に変更する 17
7.3. 奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定 20

© Synapse Innovation Inc.

改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2023/02/20	1.72	発行
2023/03/08	1.74.2	● 受注 単価取得の機能改善 について記載を修正 ● 支払実績明細の消費税計算区分を廃止 について記載 ● 不具合修正を1件追記
2023/03/09	1.74.3	● 不具合修正を1件追記
2023/04/10	1.74.4	● 不具合修正を1件追記

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© Synapse Innovation Inc.

1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

ver 1.72

- 仕入先元帳照会機能の追加
- 残高の外貨換算対応
- 債務締指示、残高計算処理改善
- 伝票コピー時の項目改善
- 受注CSV取込 客先品番から自社品番への振り替え機能追加
- 受注CSV取込 単価、税率の自動設定機能追加
- 受注 単価取得の機能改善
- 受注CSV取込の取込可能伝票数の改善
- 伝票未確定フラグの初期値設定の追加
- 出荷実績API 伝票未確定時の出荷登録機能改善
- 締／締解除画面 ページング機能追加
- 各購買伝票作成時の入力チェックを変更
- 赤黒修正、削除処理をフラグからボタンに変更
- 請求締解除／支払締解除の削除処理変更
- 帳票 会社ロゴの設定機能追加
- 請求書の表示ラベル変更
- 債権消込 入金情報欄に受注項目追加
- 取引先マスタの入力チェックを変更
- 債権奉行クラウド、債務奉行クラウド連携時のCSV出力機能追加
- 不具合修正

ver 1.74.2

- 支払実績明細の消費税計算区分を廃止
- 不具合修正

ver 1.74.3

- 不具合修正

ver 1.74.4

- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細] よりご確認ください。
アップグレード後の各変更による設定の追加等につきましては、[UM販売購買用設定]よりご確認ください。

© Synapse Innovation Inc.

2. 詳細 ver 1.72

2.1. 仕入先元帳照会機能の追加

検索条件に応じた仕入先元帳情報を表示します。
前月繰越の情報、該当月の情報を表示します。
UM販売購買アプリケーションの「仕入先元帳照会」タブからご利用いただけます。
※詳細は「UM販売購買（債権債務）：ユーザーガイド」の「仕入先元帳照会」をご参照ください。

■表示対象伝票
・買掛残高
・仕入
・支払予定
・支払実績

2.2. 残高の外貨換算対応

- 支払実績伝票作成時に、決済レートを設定することで、外貨取引の際、基軸換算額や為替差損益の算出が可能となりました。

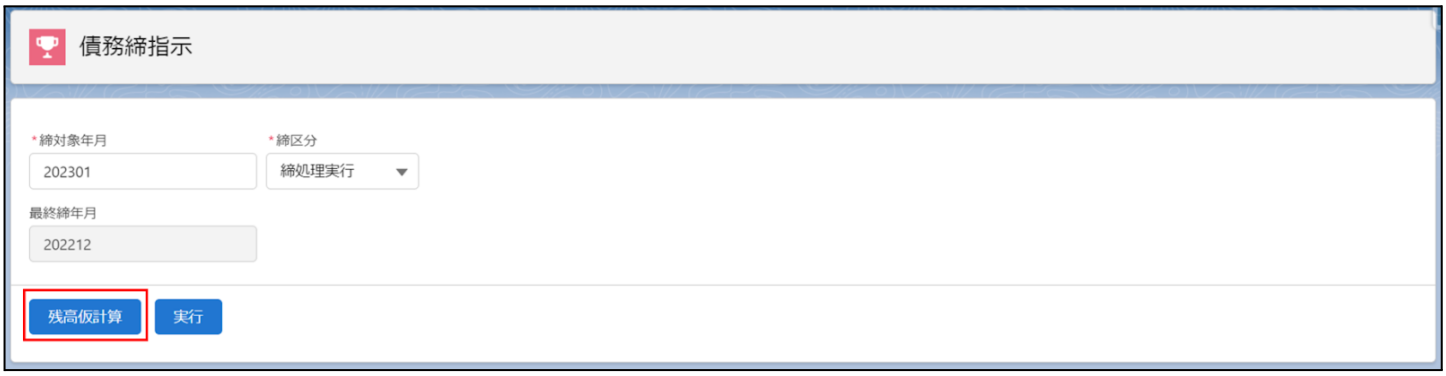
- 支払実績時に算出される基軸換算額や為替差損益を買掛残高で確認可能となりました。

※上記の対応に伴い、日本円の場合のみ支払予定分割機能がご利用できます。
※為替差損益の値を考慮した仕訳作成は今後のリリースで追加予定です。

© Synapse Innovation Inc.

2.3. 債務締指示、残高計算処理改善

- 債務締指示画面に、「残高仮計算」ボタンを追加し、債務締処理実行前に買掛残高の残高計算を行えるよう機能を追加しました。



- これまで、仕入や支払予定、支払実績を作成する毎に残高を更新していましたが、本バージョンより、債務締指示画面から残高の作成を行う様に変更しました。
  また、仕入先元帳、債務残高、支払残高の作成は行わず、買掛残高のみ作成するよう修正しました。

- 買掛残高に関してこれまで、「仕入先、部門、通貨、計上月」で集約して残高計上していましたが、本バージョンより、「支払先、通貨、計上月」で集約して残高計上するように変更しました。

  ※債権機能の債権締指示、残高計算処理は今後のリリースで仕様変更予定です。

2.4. 伝票コピー時の項目改善

伝票の「コピー」ボタンクリック時に下記項目をクリアするように変更しました。

- 受注、受注明細
  ・受注見積
  ・客先発注No.
  ・受注ステータス
  ・納期予定日
  ・受注残クローズフラグ
  ・着荷予定日
  ・時間帯
  ・注文請書発行日
  ・出荷指図作成フラグ
  ・入力可否フラグ
  ・前受金
  ・取込伝票番号
  ・受注見積明細
  ・回答日
  ・回答納期
  ・出荷予定日
  ・回答部門
  ・回答担当者

© Synapse Innovation Inc.

・製造番号
・客先発注№
・連携済フラグ
・ロット№
・購買伝票作成フラグ

- 受注見積
  ・見積有効期限
  ・見積発行日
  ・納期予定日

2.5. 受注CSV取込 客先品番から自社品番への振り替え機能追加

受注CSV取込において、品目が未指定かつ客先品目に値（※SalesforceIDではございません）が指定されている場合、客先品目マスタを参照して紐づく品目が受注明細．品目に設定されます。
品目が設定されている場合は、品目情報が優先されます。

補足）受注明細．品目に設定される値は下記をご参照ください。

品目	客先品目	品目の設定値
空	Id	客先品番(テキスト)で検索するためエラー、また、該当する客先品目マスタがなければエラー
空	客先品番	客先品目マスタ経由で品目を取得
Id	客先品番	品目マスタIdを使用
Id	Id	品目マスタIdを使用
Id	空	品目マスタIdを使用
空	空	エラー

2.6. 受注CSV取込 単価、税率の自動設定機能追加

前Verまでは、受注CSV取込時に、単価や税率をCSV内にて指定頂く必要がございましたが、
受注入力画面で入力するのと同様に、マスタ設定をしている場合に、単価や税率が自動で設定されるようになりました。
※CSVで単価や税率を指定した場合は、CSVの設定値が優先されます。

2.7. 受注 単価取得の機能改善

受注伝票作成時に、単価マスタから単価を自動取得する際の日付の基準を、カスタムメタデータ型「販売単価マスタ適用基準日」より設定可能になりました。
これまでは「計上日（受注日）」で判断していましたが、「計上日（受注日）」、「納期」基準の選択が可能です。

© Synapse Innovation Inc.

※カスタムメタデータ型の詳細につきましては、「UM共通：システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタデータ型の設定」をご参照ください。
カスタムメタデータ型の初期値は「計上日」のため、設定を変更しなければ、従来通りご利用いただけます。

2.8. 受注CSV取込の取込可能伝票数の改善

一度に100伝票まで登録可能になるよう改善しました。

2.9. 伝票未確定フラグの初期値設定の追加

伝票未確定フラグの初期値設定がカスタムメタデータ型「伝票未確定フラグ」より設定可能になりました。
※カスタムメタデータ型の詳細につきましては、「UM共通：システム管理者ユーザーガイド」の「カスタムメタデータ型の設定」をご参照ください。

■対象伝票
・入荷実績
・出荷実績

2.10. 出荷実績API 伝票未確定時の出荷登録機能改善

出荷実績APIを使用して、出荷実績伝票を作成する際に常に確定の状態で作成されていました。
伝票の確定／未確定を選択できるように機能を改善しました。

2.11. 締／締解除画面 ページング機能追加

下記の画面に対して、検索結果のページング機能を追加しました。
本機能追加により、大量データの検索にも対応できるようになりました。

■対象画面
・請求締
・請求締解除
・支払締
・支払締解除

© Synapse Innovation Inc.

2.12. 各購買伝票作成時の入力チェックを変更

下記の伝票作成時に支払先の国内決済方法が未設定の場合にエラーとなるよう変更しました。

■対象伝票
・発注
・入荷実績
・仕入
・支払予定

2.13. 赤黒修正、削除処理をフラグからボタンに変更

これまで、削除フラグをONにすることで削除を行っていましたが、
アクションボタンの削除ボタンクリック時に削除フラグがONになるように変更しました。
削除ボタンをクリックすると、赤黒伝票が作成されます。

■対象伝票
・請求
・支払予定

2.14. 請求締解除／支払締解除の削除処理変更

請求締解除／支払締解除画面にて、これまで締解除時に対象データを削除していましたが、
締解除対象のデータの削除フラグをONになるように変更しました。

2.15. 帳票 会社ロゴの設定機能追加

下記の帳票を対象に、会社ロゴを設定することができるようになりました。
※設定方法の詳細は「UM販売購買：帳票ユーザガイド」の「社印、会社ロゴの設定方法」をご参照ください。
■対象帳票
・見積書
・納品書
・請求書

© Synapse Innovation Inc.

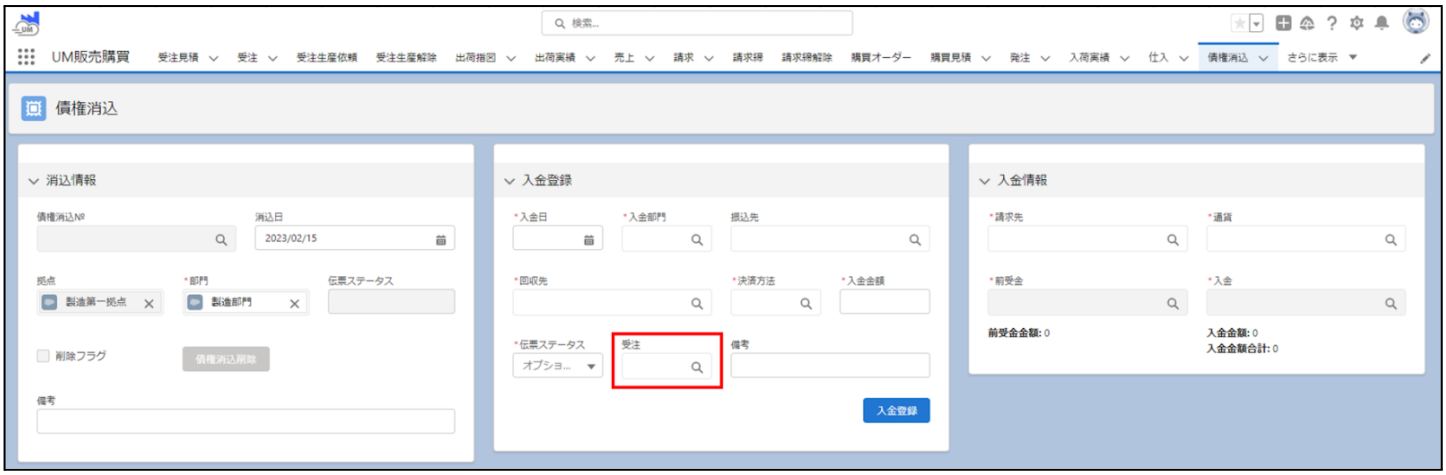
2.16. 請求書の表示ラベル変更

請求書に表示される項目の内容を下記の通り変更しました。

変更内容	変更前	変更後
表示ラベルの名称を変更	回収予定日	お支払予定日
表示ラベルを削除	回収区分	—

2.17. 債権消込 入金情報欄に受注項目追加

債権消込画面の入金登録欄に「受注」項目を追加しました。
債権消込時に作成された入金データと受注の紐付けができるようになりました。



2.18. 取引先マスタの入力チェックを変更

国内決済方法（販売）：得意先フラグのチェックの有無にかかわらず、下記項目いずれか1項目以上入力がある場合は必須となります。

■対象項目
- 消費税計算区分（販売）
- 売上基準区分
- 請求締区分
- 回収区分
- 締日（請求）
- 支払月（請求）
- 支払日（請求）

国内決済方法（購買）：仕入先フラグのチェックの有無にかかわらず、下記項目いずれか1項目以上入力がある場合は必須となります。

■対象項目
- 消費税計算区分（購買）
- 仕入基準区分
- 支払締区分

© Synapse Innovation Inc.

・支払区分
・締日（支払）
・支払月（支払）
・支払日（支払）

2.19. 債権奉行クラウド、債務奉行クラウド連携時のCSV出力機能追加

これまで債権奉行クラウド、債務奉行クラウドへの連携はAPI連携のみの方式でしたが、奉行クラウド側で取込可能なCSVファイルの出力が可能となりました。
債権奉行連携、債務奉行連携ボタンを追加することで使用することが可能です。
※詳細は「UM販売購買：ユーザーガイド」の「連携用CSV出力」をご参照ください。
※ボタンの設定方法は、UM販売購買用設定の「奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定」をご参照ください。

また従来の債権連携、債務連携ボタンの名称を下記の通りに変更しました。
※追加の設定は不要です。

変更前	変更後
債権連携	債権奉行データ作成
債務連携	債務奉行データ作成

2.20. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 税種別合計金額
  基軸通貨、外貨に関わらず消費税計算区分「計算しない」を設定していても、税種別合計金額の合計税額が計算されてしまう不具合を修正しました。

- 出荷実績入力
  出荷基準時、製品標準以外の追加のフロー等が設定されていた場合にガバナ制限にかかりやすい事象を低減しました。

- 発注
  購買オーダー詳細画面から発注ボタンにて発注時、発注．入荷対象フラグが購買オーダー．入荷対象フラグの設定値と同じにならないことがある不具合を修正しました。

- 仕入、支払予定
  仕入伝票や支払予定伝票作成時に、合計金額（組織共通通貨）や総合計（組織共通通貨）の値が、通貨マスタの小数桁数の値で丸められていない不具合を修正しました。

- カスタム項目追加時の赤黒修正、削除処理
  お客様独自のカスタム項目を追加されている状態で、赤黒処理や削除処理を行った際に、処理が失敗してしまう不具合を修正しました。

© Synapse Innovation Inc.

■対象伝票
・売上
・請求
・仕入
・支払予定

- 請求締、支払締
  検索結果のソート順を以下の項目順（昇順）に変更しました。
  ■請求締
  ・請求先
  ・得意先
  ・売上部門
  ・決済方法
  ・通貨
  ・担当者

  ■支払締
  ・支払先
  ・仕入先
  ・仕入部門
  ・決済方法
  ・通貨
  ・担当者

- 債権連携、債務連携（奉行連携）
  債権奉行データ作成ボタン／債務奉行データ作成ボタンクリック時、検索条件である請求先／支払先と、請求部門／支払部門の名称を正確に入力しなかった場合、検索条件による絞り込みができない不具合を修正しました。

- 会社設定
  下記項目の入力値を削除して保存しても入力値が削除されない不具合を修正しました。
  ■対象項目
  ・通貨
  ・営業部門
  ・営業担当者
  ・振込先
  ・銀行
  ・銀行支店
  ・自社出金口座
  ・国内決済方法（販売）
  ・国内決済方法（購買）
  ・国内決済方法（販売）２
  ・国内決済方法（購買）２

- 受注
  受注コピー時に運送業者マスタの権限設定不足でコピーされない不具合を修正しました。

© Synapse Innovation Inc.

3. 詳細 ver 1.74.2

3.1. 支払実績明細の消費税計算区分を廃止

これまで支払実績明細の消費税計算区分が登録されていましたが、支払予定分割に対応するため支払実績明細の消費税計算区分を廃止しました。

3.2. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 債権奉行連携画面起動時のガバナ制限対応
  債権奉行クラウドへ連携する伝票を選択する画面を起動する際にガバナ制限にかかりやすい事象を低減しました。

4. 詳細 ver 1.74.3

4.1. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 受注明細
  受注明細登録時に、常に受注明細. 納入在庫場所の必須チェックが行われる不具合を修正しました。

5. 詳細 ver 1.74.4

5.1. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 見積書、注文請書、注文書、検収書
  単位に受払単位を表示していました。荷姿の単位で表示するように修正しました。

© Synapse Innovation Inc.

6. アップグレード手順

パッケージURL：
①Schema
②Label
③Utility
④Domain
⑤Service
①～⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート 2301E」に記載しています。
⑥販売購買 ver.1.74.4
https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x0000048MhlAAE

＜手順＞

1） 本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。
上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。
（例）https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID

2） ①Schema～⑤Serviceのアップグレードを実施します。
「UM共通 リリースノート 2301E」を参考に、URLの実行を行ってください。
※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。

3） ⑥販売購買のアップグレードを実施します。
上記パッケージURL⑥にアクセスします。

4） ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。

5） アップグレード実行画面が表示されます。
※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。

＜実行手順＞

a） 「管理者のみのインストール」をクリックします。

© Synapse Innovation Inc.

b)　下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。
c)　「アップグレード」ボタンをクリックします。

アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。
下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。

6)「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。
インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。
アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。
※パッケージごとに、手順 3)～ 6)のアップグレード作業を繰り返し行ってください

© Synapse Innovation Inc.

7. UM販売購買用設定

UM販売購買の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

7.1. UM共通用設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。
下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。
「UM共通リリースノート　2301E」

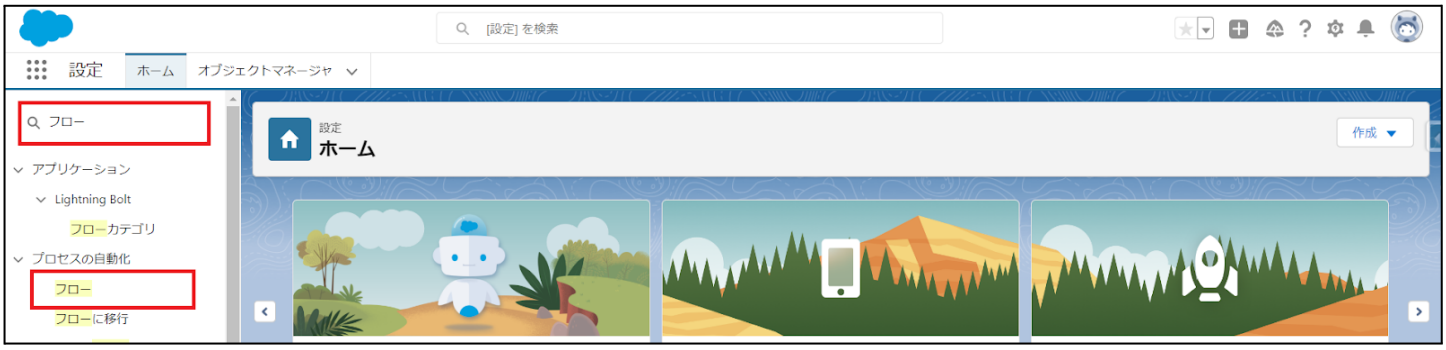
7.2. フローの制御を無効化に変更する

下記表のフローに対して無効化する設定をします。
債務機能の残高処理の仕様変更に伴い、フローの無効化を行います。
※債権機能についても今後のリリースで仕様変更予定です。

フロー名
SCM Payment Result Change Balance Flg

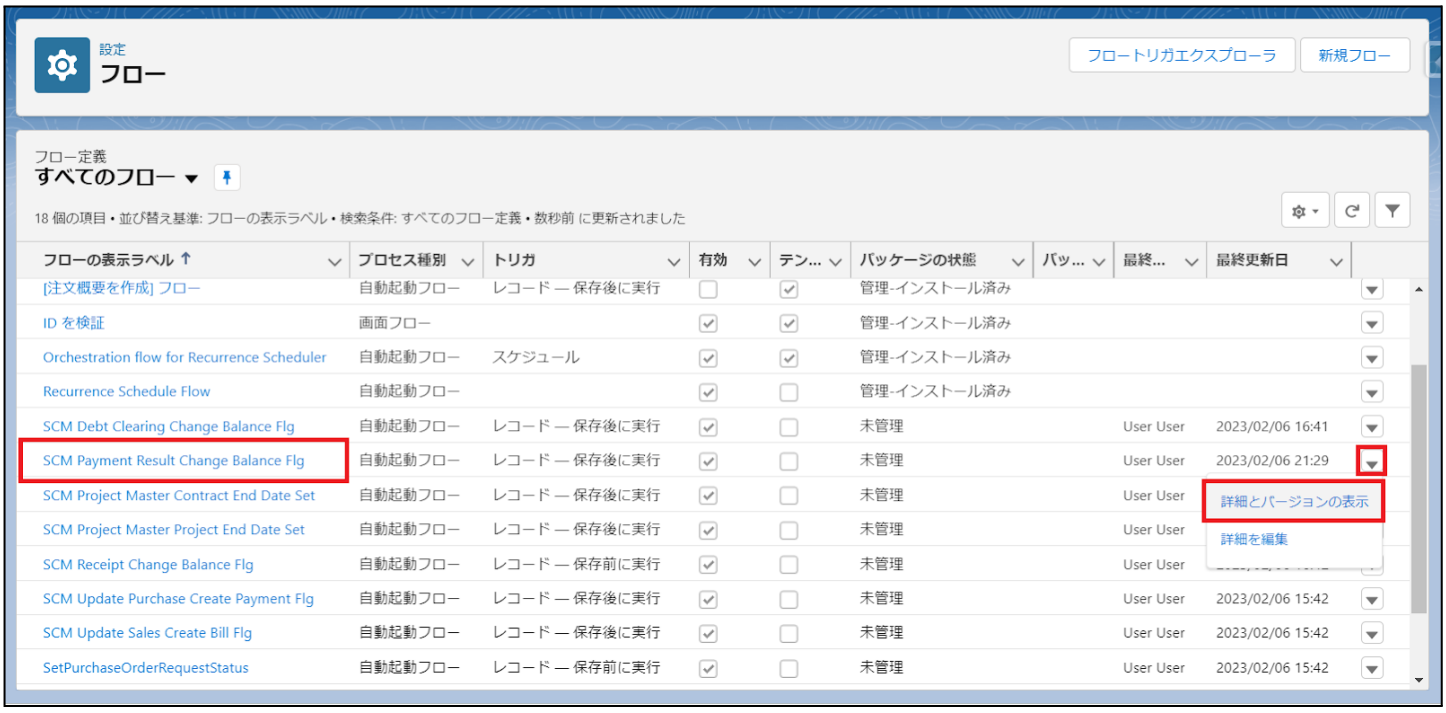
＜手順＞（例）SCM Payment Result Change Balance Flgを無効化する

1） クイック検索でフローを検索します。



2） 無効化したいフローの右端の「▼」をクリックし、「詳細とバージョンの表示」をクリックします。
※既に「有効」のチェックが外れている場合は、以降の手順は実施不要です。

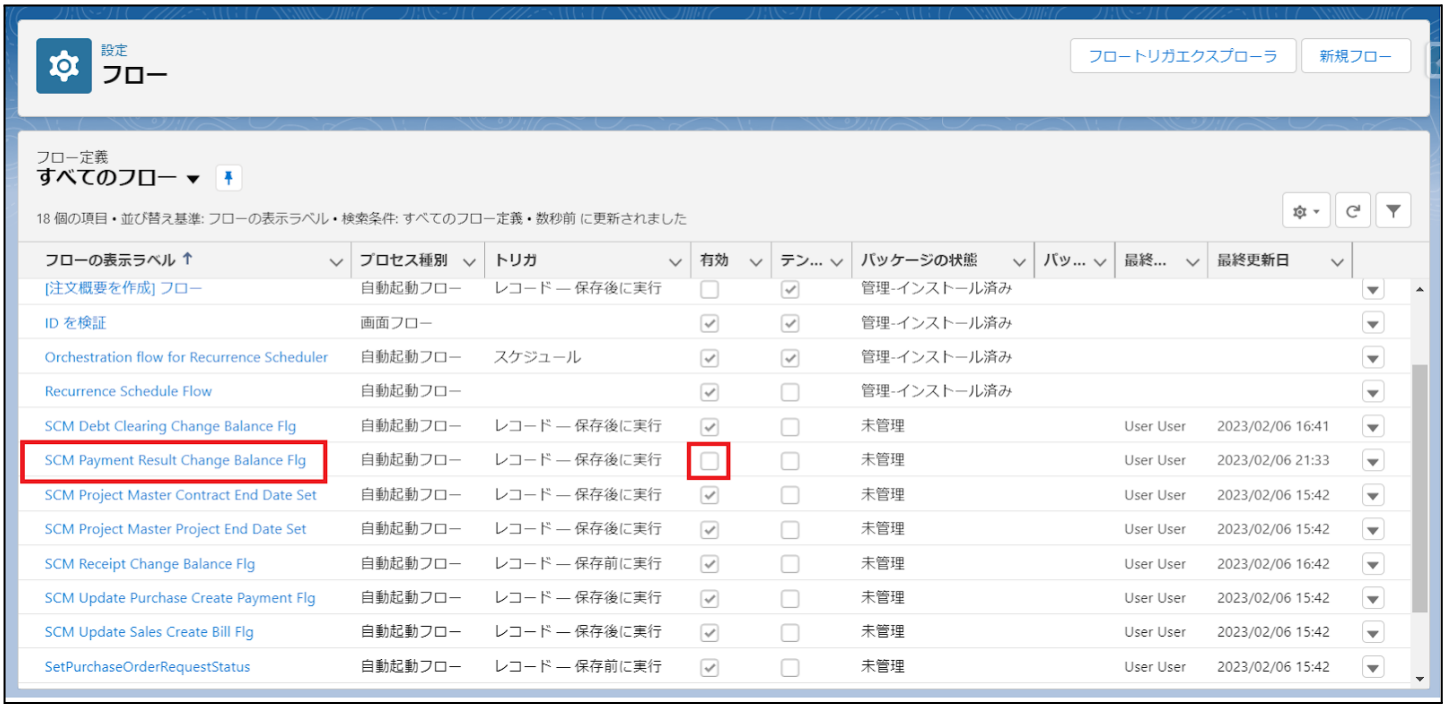
© Synapse Innovation Inc.



3）「無効化」をクリックし、左上の「リストに戻る：フロー」をクリックします。
※バージョンが複数存在する場合、全てのバージョンが無効化されているかご確認ください。

4） 無効化したフローの「有効」のチェックが外れていたら無効化完了です。

© Synapse Innovation Inc.



© Synapse Innovation Inc.

7.3. 奉行クラウド連携をご利用になる場合の任意設定

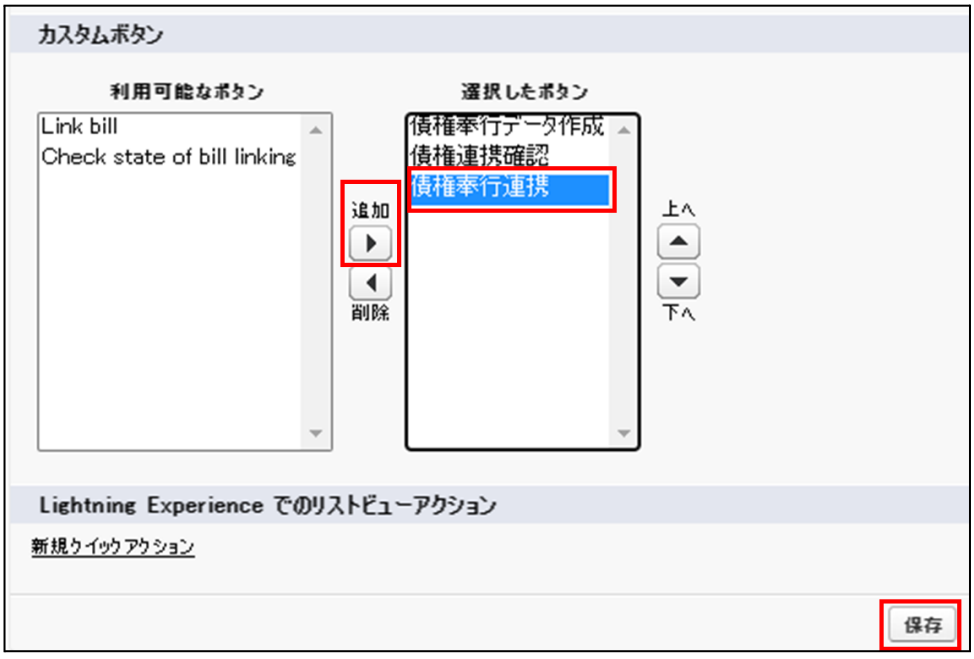
請求、支払予定画面に「債権奉行連携」「債務奉行連携」ボタンを追加します。

オブジェクト	カスタムボタン	用途
請求	債権奉行連携	債権奉行クラウド側で取込可能なCSVファイルの出力
支払予定	債務奉行連携	債務奉行クラウド側で取込可能なCSVファイルの出力

＜手順＞

1） 請求オブジェクトのオブジェクトマネージャにて「リストビューボタンレイアウト」を開き、「リストビュー」の右側「▼」より編集をクリックします。

2） カスタムボタン欄にて「利用可能なボタン」に存在する「債権奉行連携」を選択して「選択したボタン」に追加し、保存します。



3） 債務側は、同様に支払予定オブジェクトに「債務奉行連携」ボタンを追加ください。

© Synapse Innovation Inc.